

CAPプログラム実施のためのガイドライン

「CAPプロジェクトやお」プロフィール

CAPプロジェクトやおは、1996年から活動をはじめています。

八尾市、東大阪市、藤井寺市を中心に、保育所、幼稚園、小、中学校や児童養護施設で、子ども、先生・施設の職員、保護者などを対象にワークショップを実施しています。

キャップ
CAP
とは

Child(子どもへの)Assault(暴力)Prevention(防止)

CAPはすべての子どもたちに自分の大切さを教え、内にある自信を育てる事を目的とした人権教育のプログラムです。
子どもがいじめや虐待、誘拐、痴漢などの暴力から、自分自身の身を守るための具体的な防止方法を子どもに伝え、一緒に考えます。

■CAPの3つのアプローチ

おとな対象	教職員ワークショップ(専門職対象) 保護者ワークショップ(地域のおとな対象)
子ども対象	子どもワークショップ(就学前向け・小学生向け・中高生向け)

上記2つのおとなワークショップは、単独で開催が可能です。「いじめ」「虐待」などテーマを設定して実施することができます。また、子どもにとっての役割・立場に応じた内容を毎年提供します。

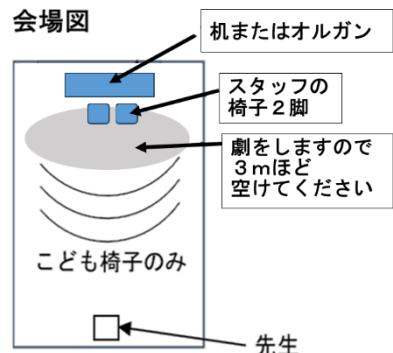
このようにCAPプログラムは、まず学校・家庭・地域の三者が一体となって、子どもたちが安心・安全に成長できる環境を整え、その上で、子ども自身に大切な自分を守るために知識とスキルを伝え、何ができるかと一緒に考えていく3つのアプローチをとっています。

おとなワークショップ(教職員向け、保護者・地域のおとな向け)

目的	一人一人の人権について考え、自分の大切さに気づいたうえで、暴力から子どもの心と身体を守るために必要な環境をどう整えるのか、おとの責任と役割を考えます
所要時間	90分～120分
費用	30,000円
内容	学校、又は地域の課題や要望に合わせて組み立てますのでご相談ください。 例) 1.子どもの権利について「安心して自信をもって自由に生きる権利」 2.エンパワメント(力の不均衡/おとの力の使い方) 3.暴力の定義 4.CAP 子どもワークショップ模擬体験 5.暴力防止のために、子どもの自己決定を促すおとの関りを考える
参加人数	人数制限なし
スタッフ	1～2名
設営・準備等	プロジェクター、スクリーン、PC、ホワイトボード又は黒板

子どもワークショップ【就学前プログラム】

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳～8歳（小学1・2年生）くらいまでの子どもを対象 ・発達段階に合わせて、自分と他人を大切にする力を育む ・人形劇や寸劇を使って、いやな事や怖い事にあいそうになった時、あるいは受けた時に自分自身を守るためにできるスキルを学ぶ
実施形態	1学年 1クラス単位
所要時間	20分×3日間+15～20分のトークタイム ※先生との事前打合せ・事後の振り返りもあります
費用	1クラス 30,000円
スタッフ	2人
設営準備等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの椅子を2～3列で半円を描くように配置 ・スタッフ用の椅子2脚（劇に使用します） ・机またはオルガンなど ・先生ロールプレイのシナリオ



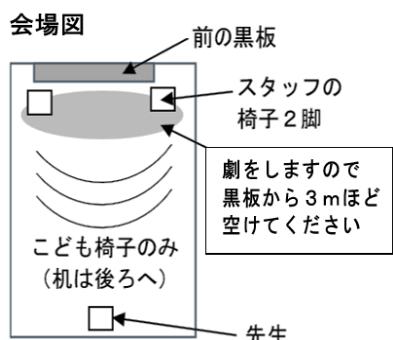
<構成>

事前	1日目	2日目	3日目	トーカタイム 15分・事後振り返り
事前打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものけんり ・安心、自信、自由 ・子どもどうしの暴力（いじめ） ・「いや」の練習 ・子ども参加の劇（助ける友だち役） 	<p>トーカタイム 15分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・人形劇「知らない人に話しかけられたら」 ・特別な声の練習 ・にげる ・発達に合わせたスキル 	<p>トーカタイム 15分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・知っている人からいやな触られ方をされたら ・相談する ・先性に話す劇 	

※事前打合せ…実施日までに、各クラスの様子や子どもたち様子をお伺いします

子どもワークショップ【小学生プログラム】

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利について考え、自分と他人を大切にする力を得る。 ・ロールプレイ（模擬劇、寸劇）などを使って、暴力を受けそうになった時、あるいは受けた時に自分自身を守るためにできるスキルを学ぶ
実施形態	1学年 1クラス単位
所要時間	2时限(45分×2)+15～20分のトークタイム ※先生との事前打合せ・事後の振り返りもあります
費用	1クラス 30,000円
スタッフ	3人
設営準備等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの椅子を2～3列で半円を描くように配置 ・スタッフ用の椅子2脚（劇に使用します） ・黒板またはホワイトボード ・先生ロールプレイのシナリオ



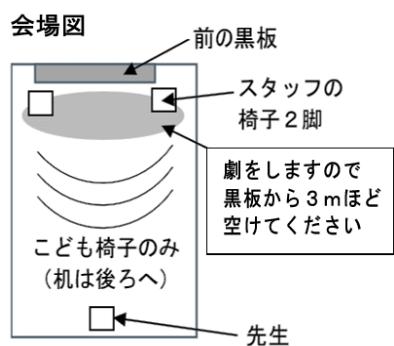
<構成>

事前	当 日				休み時間	
	1时限目	2时限目	3时限目	4时限目		
事前打合せ	<p>導入</p> <p>子ども の権利 安心 自信 自由</p>	<p>【テーマ】 いじめ 子どもどうし の暴力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ ・話し合い ・成功版の ロールプレイ (子ども参加) 	<p>【テーマ】 誘拐 知らない人 からの暴力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ ・話し合い ・成功版の ロールプレイ (子ども参加) 	<p>【テーマ】 性虐待 知っている人 からの暴力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ ・話し合い ・成功版の ロールプレイ 	<p>先生 ロールプレイ アンケート 記入</p>	<p>トーカタイム 15分 事後振り返り</p>

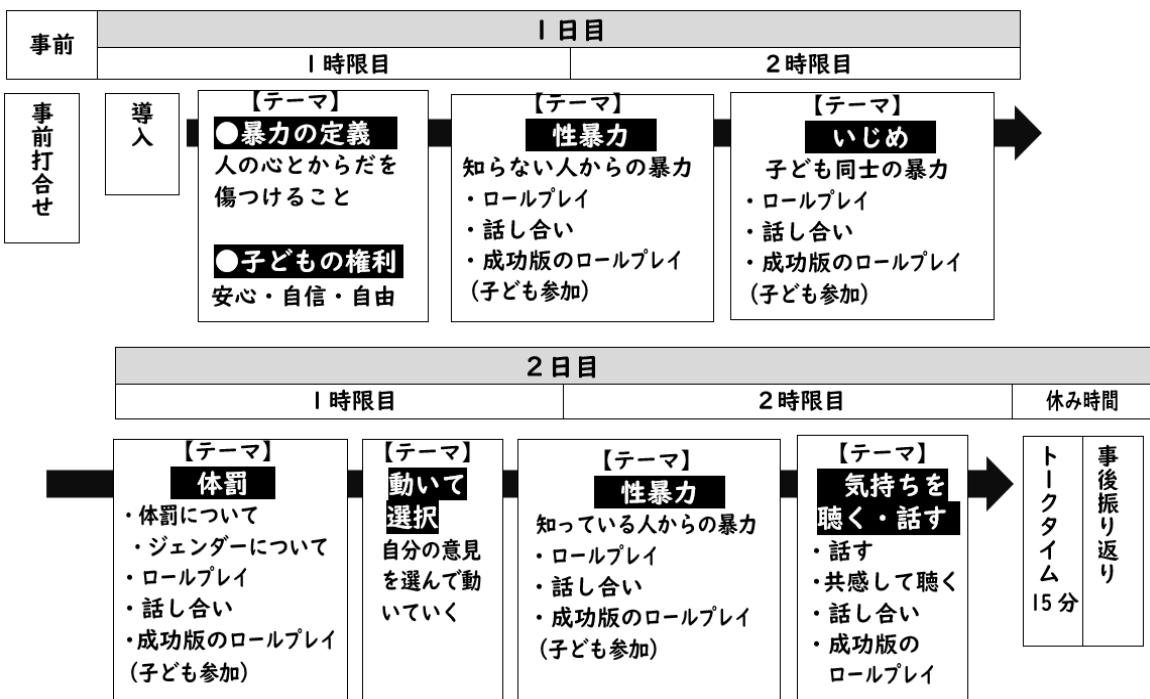
※事前打合せ…実施日までに、各クラスの様子や子どもたち様子をお伺いします

子どもワークショップ【中学生・高校生プログラム】

目的	・子どもの権利について考え、自分と他人を大切にする力を得る。 ・ロールプレイ(模擬劇、寸劇)などを使って、暴力を受けそうになった時、あるいは受けた時に自分自身を守るためにできるスキルを学ぶ
実施形態	1学年 1クラス単位
所要時間	2 時限(50 分×2)×2日間+15~20 分のトークタイム ※先生との事前打合せ・事後の振り返りもあります
費用	1クラス 40,000 円
スタッフ	3人
設営準備等	・子どもたちの椅子を2~3列で半円を描くように配置 ・スタッフ用の椅子2脚(劇に使用します) ・黒板またはホワイトボード ・先生ロールプレイのシナリオ



<構成>



※事前打合せ…実施日までに、各クラスの様子や子どもたち様子をお伺いします

その他・留意点等

- ・写真など記録される場合は、後方よりお願いします。ビデオでの記録撮影はお断りしています。
- ・子どもワークショップは、担任の先生以外に2名の先生の見学参加は可能です。学年に関わりのある先生や保健の先生もぜひ、ご参加ください。
- ・子どもワークショップは保護者の方の参観は、子どもたちにリラックスして参加してもらいたいためお断りしています。保護者の方へは「おとなワークショップ」をご案内ください。
- ・子どもワークショップは、当日に先生ロールプレイの読み合わせをします。シナリオをご持参ください。
- ・ワークショップ実施後は、報告書・アンケートへのご協力をお願いいたします。

お申込み先

メールにて
下記の内容をご記入ください

件名	CAP ワークショップ依頼
本文	①団体名・学校名 ②担当者名 ③連絡先メールアドレス ④実施規模(学年・クラス数・人数など) ⑤ご質問など

お問合せ先

キャップ
CAPプロジェクトやお事務局

所在地:八尾市東本町 1-7-2
 電 話:080-6107-6155(事務局専用)
 メールアドレス:capyao1996@yahoo.co.jp
 ホームページ:<http://capyao.main.jp/>